

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●チャンピオンズカップはレモンポップが優勝

12月3日(日)に行われたチャンピオンズカップ(G I)では、レモンポップ(牡5歳/美浦・田中博康厩舎)が1番人気に応じて優勝しました。レモンポップは本年のフェブラリース(G I)も勝利しており、同一年の両JRAダートG I制覇は史上4頭目のこととなります。

●藤岡佑介騎手が1000勝、和田竜二騎手は2万1000回騎乗を達成

12月3日(日)の5回阪神2日・第12レースではトラベログが1着となり、同馬に騎乗した藤岡佑介騎手(栗東・フリー)は、史上43人目、現役では22人目となるJRA通算1000勝(1万1420戦目)を達成しました。また同レースでセイイェグルに騎乗した和田竜二騎手(栗東・フリー)は、史上6人目、現役では5人目となるJRA通算2万1000回騎乗を達成しました。

●久保田貴士調教師がJRA通算500勝を達成

12月3日(日)の5回中山2日・第8レースではエリカヴァレリアが1着となり、同馬を管理する久保田貴士調教師(美浦)は、現役26人目となるJRA通算500勝(延べ4946頭目)を達成しました。

●ホウオウイクセルの競走馬登録抹消

2021年フラワーC(G III)の勝ち馬ホウオウイクセル(牝5歳/美浦・高柳瑞樹厩舎/JRA通算13戦2勝)は、10月27日(金)付で競走馬登録を抹消されました。今後は北海道洞爺湖町のレイクヴィラファームで繁殖馬となる予定です。

●アドマイヤジュピタが死亡

11月28日(火)、アドマイヤジュピタ(20歳)が老衰のため死亡しました。同馬は2008年天皇賞(春)(G I)を制するなどJRA通算14戦7勝の成績を残して引退、種牡馬入り。種牡馬からも引退した後は功労馬として北海道苫小牧市のノーザンホースパークで余生を送っていました。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●南部駒賞(盛岡)は地元のプロジェクション【各地の主要2歳重賞】

南部駒賞(11月12日、盛岡、1600^円)は、出遅れから徐々に位置取りを上げた単勝1.9倍で断然人気のプロジェクション(牡、父ゴールデンパローズ)が、逃げ粘る北海道からの遠征馬オスカーブレインを残り150^円を切った辺りで差し切り、デビュー以来の連勝を5に伸ばしました。ハイセイコー記念(10月31日、大井、1600^円)は、5番手追走から直線に入って間もなく抜け出した単勝1.9倍で1番人気のダテノショウケン(牡、父バンブーエール)が後続を8馬身引き離し、無傷の5連勝を達成。ネクストスター名古屋(10月31日、名古屋、1500^円)は、早目に2番手に進出した北海道からの転入馬ミトノユニヴァース(牡、父ロジユニヴァース)が3コーナー過ぎに先頭に立って5馬身差で圧勝、単勝1.7倍の支持にえています。

●フォーエバーヤングらが参戦、12月13日の全日本2歳優駿(川崎)

全日本2歳優駿(Jpn I、12月13日、川崎、1600^円)は、JBC 2歳優駿の覇者フォーエバーヤングと兵庫ジュニアグランプリ優勝馬イーグルノワールが双壁、以下サトノフェニックス、ゼルトザーム、ナスティウェザーまでが争覇圏内と考えられます。

●12月14日の神奈川記念(川崎)にバーデンヴァイラーらが出走

今年限りのJRAオープンとの交流競走、神奈川記念(3歳以上、12月14日、川崎、1600^円)は、実績馬に厳しい賞金別定で、バーデンヴァイラーが上限の60^{kg}を背負うため、58^{kg}のニューモニュメント、56^{kg}のオマツリオトコ、54^{kg}のキャリックアリードにもチャンスがありそうです。他にJRAからはユティタム、ヴィブラフォンが出走を予定しています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●G 1ハリウッドダービー〜プログラムトレーディングが制す

現地12月2日にアメリカ・カリフォルニア州のデルマー競馬場で行われたG 1ハリウッドダービー(3歳、芝1800^m)は、F. ブラ騎手が手綱を取ったプログラムトレーディング(牡3歳、父ロペデヴェガ、C. ブラウン厩舎)が7頭立ての6番手追走から末脚を伸ばすと、さらにその後ろから追い上げたウェブスリンガーをクビ差しりぞけて優勝しました。プログラムトレーディングは今年5月のデビューから2連勝で臨んだ8月のG 1サラトガダービー(芝1900^m)では、今回も2着だったウェブスリンガーに直線で一度はかわされながらも差し返してG 1初制覇。続く前走9月のG 3バージニアダービーは早め先頭から差されて2着でしたが、今回はしぶとく粘って2つ目のG 1タイトルを手に入れました。

●オーストラリア年度代表馬にアナモー

昨シーズン(2022/23年シーズン)におけるオーストラリアの年度代表表彰が11月23日に発表され、年度代表馬にはアナモー(牡4歳=昨シーズン時の年齢、父ストリートボス、J. カミングス厩舎)が選出されました。アナモーは昨シーズン9戦7勝で、コックスプレート(芝2040^m)を含む6つのG 1を制しました。